

学校教育目標 未来に向かって力強く生きる ひとみ輝く 和土っ子の育成

～ やさしい子:やさしいっばい かしこい子:かっぱい たくましい子:やる気いっばい ～



# 和土小だより

さいたま市立和土小学校

令和7年5月2日(金)

5月号

〒339-0033 さいたま市岩槻区黒谷1353番地 TEL048-798-0208 / FAX048-798-8730

学校Webページ: <https://wado-e.saitama-city.ed.jp/> Eメール: [wado-e@saitama-city.ed.jp](mailto:wado-e@saitama-city.ed.jp)

児童数 148名

## 春、「なりたい自分」へ

校長 中野尾 奈都江

和土小学校の校庭の新緑の木々の間を、さわやかな風が吹き渡っています。中庭には、薄水色のネモフィラやピンク色のサクラソウが咲いています。子どもたちは、業間休みには、校庭一杯に走り回って遊んだり、藤棚の紫色の花房を見上げたり、思い思いの時間をゆったりと過ごしています。早いもので、新しいクラスでの出会いから約3週間がたちました。



中庭のネモフィラ

4月15日(火)に体育館で実施した「1年生と仲良くする会」では、縦割り班で「自己紹介ゲーム」や「和土小クイズ」をして、1年生を歓迎しました。2年生以上の子どもたちは、ちょっと緊張した1年生を優しく見守っていました。和土小学校では、異学年交流活動として、縦割り班で協力して校舎のそうじをしています。6年生は、通学班でもそうじでも下級生を見守り、引っ張っていくリーダーの立場で1年間を過ごします。先日、特別教室のそうじで、ほうきで床を黙々と掃いている6年生の男子がいました。下級生は、雑巾がけで6年生のあとをついていっていました。とても真剣にそうじに取り組む6年生のお兄さんの真似をしている雰囲気でした。「そうじを一生懸命にやる」ということを行動で示していた6年生、かっこよかったです。きっと、下級生にとって「憧れ」の存在だと思います。

春は学年が変わり、目標を立てる節目です。目標を立てたら、その目標にむけて、具体的に行動することが大切です。「目標」とは、「なりたい自分」をイメージすることだと思います。「なりたい自分」とは、「憧れ」であり、「今までの自分との比較」でもあります。身近に憧れのモデルがいるとよいですね。子どもたちにとって、身近なお兄さんお姉さんがモデルになると素敵です。または、「そうじゃない自分を成長させる」という目標でもよいと思います。

和土小学校の目指す児童像の一つ「たくましい子」は、「やる気いっばい」を表しています。「なりたい自分」を目指し、挑戦する和土っ子を、教職員一同応援しています。春は、「やる気いっばい」の和土っ子が、周りの人のよさを見つけるチャンスの春です。そして、「自分」というものを見つめるチャンスでもあります。子どもたち一人ひとりが、一学期の終わりに、「自分で目標を立てて努力した。できた。」などの自己肯定感をもてるとよいと思います。学校では、授業や学校行事において、子どもたち自身が「目標」や「課題」を自己評価する、振り返りの場を設定していきます。一人ひとりの(具体的な)よさを、大人が認めて、友達同士でも認め合うことが、子どもたち自身が「自分のよさを知る」ことにつながります。小さなことでよいので、「具体的にほめる」ことで、「あなたを見ていますよ」というメッセージを送り、一人ひとりのキラリを輝かせていきたいです。

結びに、保護者の皆様・地域の皆様のご協力のもと、令和7年度を順調に始めることができましたことに改めて感謝申し上げます。大型連休では休養をしっかりとられて、風薫る5月、心身ともに爽快にお過ごしください。